団体会合

第25回

全国自転車問題自治体連絡協議会総会 レポート

去る5月19日、全国自転車問題自治体連絡協議会の第25回総会が開催された。第一部総会では全ての認定・議案が承認。前会長の前川燿男氏（練馬区長）が退任し、新会長に石川雅己氏（千代田区長）が就任した。続く第二部では自治体の取組み紹介、第三部では講演会などが行われた。各発言を要約抜粋し、翌日の施設見学会と合わせてレポートする。

左から、総会開催市長の石森孝志氏（八王子市長）、前会長の前川燿男氏（練馬区長）、新会長の石川雅己氏（千代田区長）、監事の邑上守正氏（武蔵野市長）。総会開始前の控え室にて

鉄道事業者に付置義務を

全国自転車問題自治体連絡協議会
会長　石川雅己氏（千代田区長）

ただいま皆様方のご推挙で全自連の会長に就任させて頂きました千代田区長の石川です。どうぞよろしくお願い致します。

自転車は身近な交通手段であるがゆえに、ルールやマナーを守らず、自由気ままに利用する人が絶えない上、安心できる走行環境の整備が必ずしも十分に進んでおりません。利用者が増えれば増えるほど、こうした課題が各自治体に、さまざまな形で課題として押し寄せていることは、ご存知だと思います。

国もさまざまに道路交通法を改正して頂いておりますが、必ずしも十分ではない。国や都道府県や市町村が行う自転車の走行環境の整備に関しまして、重ねて財政支援を含め、そうしたことを再三にわたって皆様方と一緒に、お願いをして参りましたが、今後もさらに一層強力に働きかけて参りたいと思います。

一方では駐車場問題の解決も容易なことではありません。特に付置義務という制度を各自治体が制度として条例等で行っても、必ずしも実効性を伴わない。ほとんどが、鉄道利用者との関係になるからです。したがって、鉄道事業者へ強力に付置義務を課すようなことを、ぜひ法的に強く後押しして頂きたい。

今日は関係省庁の皆様方もご出席しております。ぜひそれぞれの省庁の壁を破り、自転車問題について国政が一致協力をして頂きたい。私はそういう思いで会長をお引き受け致しました。皆様方で心を一つにして、本当に安全・安心、いい環境づくりをすることを申し上げて、会長就任の挨拶とさせて頂きます。

来賓挨拶・自治体施策・講演紹介

「超党派による法案練り上げ」

超党派の「**自転車活用推進議員連盟**」の**プロジェクトチーム座長**であり、**参議院議員**の**小泉昭男氏**が挨拶に登壇。「7省庁にまたがる各省庁横断型の議員立法を目指し、法案を超党派で練り上げて参りました。本国会では会期がギリギリになり、法案成立が厳しくなって残念です。2020年のオリンピック開催に向け、各自治体の方々が動きやすいような法案作りを目指します」日本全国の自転車環境が統一できる、包括的な内容になる予定という。

「松戸市の自転車対策について」

平成28年5月1日現在、49万1379人の人口を抱える**千葉県松戸市**の自転車対策について、**街づくり部交通政策課**の**小森主事**による解説が行われた。パーソントリップ調査で買い物客の午後利用が多いことが判明した為、放置防止指導員の指導時間6：30～10：30を、平成24年には13：30まで、平成26年には17：00までに延長。実際の状況に即した施策を行っている。放置自転車撤去台数も、平成9年度の35,692台をピークに、平成27年度には8,063台に減少した。

「横浜市の自転車総合計画」

来年度総会開催予定地の**横浜市**から、同市の**道路局総務部**の**中山交通安全・自転車政策課長**による状況説明が行われた。昭和60年に放置防止条例を策定した横浜市は、現在市内115駅で合計240カ所、約10万台の駐輪場を整備。ピーク時には約73,000台に達した放置自転車も、昨年度の調査では約14,000台と大幅に減少した。現在「自転車総合計画」の策定進行中で、昨年12月に総合計画素案を発表、パブリックコメントを経て、6月に計画確定・公表予定。

「ココロとカラダに効く自転車」

全自連の賛助会員であり、自転車活用推進研究会の理事も務める**サイクルライフナビゲーター**の**絹代氏**の講演。健康管理とストレス解消という観点から、豊富な写真や図式を盛り込んだパワーポイントで懇切丁寧に解説。体脂肪の燃やし方、生活習慣病と自転車、運動とメンタルヘルスの関係、さらに医療費削減についてまで、会場の9割以上を占める中年男性に有益そうな情報が満載だった。

DATA（総会）
日時：2016年5月19日
会場：京王プラザホテル八王子（東京都八王子市）　PP

施設見学会

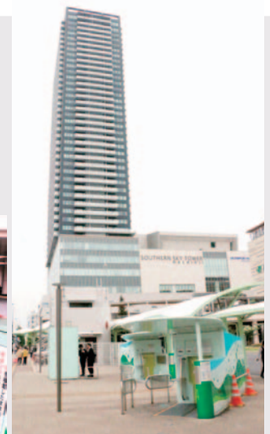
八王子駅周辺自転車駐輪施設

総会の翌日、八王子駅周辺の駐輪施設の見学会が実施された。駅北口のジョイ五番街通りは道路両サイドに駐輪ラックを設置。電源を引いたラックと、電源敷設が難しい場所にはバッテリー式のラックを併用。最初の2時間を無料（以降2時間毎100円）として利用を促進する。なお、夏の「八王子まつり」の際には一時的に撤去するという。西放射線ユーロードでは可動式で3台が停められる自転車駐車器具を使用。ラックを置くことで、それ以外の場所への自転車放置を防ぐ効果があるという。

（公財）自転車駐車場整備センターによる駅北口地下自転車駐車場は定期利用950台、一時利用130台の計1080台を収容。交通系電子マネーを定期券・一時券として利用できる自動ゲートを採用。電子マネー利用は70%に達している。駅地下通路に直結している立地が非常に好評で、平日、休日を問わず利用率が高い。駅南口には地下タワー式自転車駐車場として技研製作所「エコサイクル」が6基設置され、計1224台に対応。雨濡れや盗難の心配がなく、入出庫もスピーディで利用者の評価は高いとのこと。

❶ジョイ五番街。NCD「Dラック」❷フルテック「チャリコ」❸西放射線ユーロードの可動式自転車駐車器具「サインラック」店舗ごとに管理し、利用者はその店舗から利用証をもらう。ラック以外への「放置」を抑止

❹北口地下自転車駐車場。自動ゲートは交通系電子マネーに対応。❺2段式ラックにより1080台を収容。❻駐輪後は地上へ出ずに地下通路で駅へ。❼スロープはベルトコンベア付き



南口の地下タワー式自転車駐車場「エコサイクル」。ロータリーを囲むように6基設置されている。平均出庫時間は約13秒と非常に早い